

誕生日のお祝い

お誕生日
おめでとうございます!



- 三瓶 弘樹さん (昭和 63 年 8 月 28 日生)
- 富田健三郎さん (昭和 18 年 8 月 30 日生)
- 梅津 実明さん (昭和 40 年 8 月 30 日生)
- 磯部 健一さん (昭和 46 年 8 月 30 日生)



私のひとこと

小生『品格が失格なれど』 齋藤 善重

入会し皆様に励(禿)増され、30年、古希も去りました。会報係になった当時はテープを聞き、鉛筆と消しゴムの減りで机上は汚れ写真の現像にダイユー8さんに走り、係の方に、うちの社長が写っていると笑顔で対応して頂いて、スマイルの高額者は☆や☺のマークを付けた原稿にして、阿部紙工さんへ依頼してましたが、今はパソコン、デジカメ、プリンターでハイ出来上り。今年度スマイルの係になり、奉仕の資金を如何にして、より多く集めるか、悪巧みをチラつかせる係として、禿頭が悩まされます。大原の佐藤信先生会長の年度に入会、佶会長が、今日は大原特別代表が例会に来て頂けるが、大原先生は福島RCの例会日には、病院臭の背広では皆に失礼とご自宅に戻られ、背広も着替えてからご出席、青少年会館のパイプ椅子や机でカギザキをされてはと心配されておられた。お客様のおもてなしを心がけ、スマイルをぶんどろう!

今後のプログラム

(理事会により変更になる場合がございます)

- 8月26日(水) 第8回例会
地区拡大・クラブ奉仕委員会
合同セミナー報告
会員スピーチ(熊田 治 会員)
福島成蹊高校 IAC 年次大会報告
- 9月2日(水) 第9回例会
誕生日・ロータリーの友読みどころ
会員スピーチ
(笠原 久義 会員)(阿部 尚俊 会員)
- 9月9日(水) 第10回例会
成蹊高校奨学金授与
米山奨学生スピーチ
米山奨学金授与
会員スピーチ(佐藤 朋也 会員)
- 9月16日(水) 第11回例会
ゲストスピーチ
(福島県酒造組合会長 新城 猪之吉 氏)
創立45周年記念ゴルフコンペ報告
- 9月23日(水)
法定休日(秋分の日)

地区情報・第一分区分
その他関連情報

- 8月21日(金)
県北第一分区分・酒井善盛ガバナー歓迎会
- 8月26日(水)
第3回 IAC 例会(年次大会報告)
- 8月28日(金)
歴代分区分代理ガバナー補佐会議
- 9月9日(水)
第4回 回理事会
- 9月13日(日)
福島南RC創立45周年記念ゴルフコンペ
福島ゴルフ倶楽部民報コース
- 9月16日(水)
第4回 IAC 例会

ベストショット



「素晴らしい姿勢です。」

福島南ロータリークラブ

RI 2530 地区 県北第1分区分

- 事務局 〒960-8151 福島市太平寺字通吹6-2 ザ・メイファイブ1F2号室 TEL 024-546-3793 FAX 024-545-7878
- HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html> e-mail f-southrotary2530@inaka.ne.jp
- 例会場 サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町4-30 TEL 024-523-3811(代) FAX 024-523-0375

《福島南ロータリークラブ パナーの由来》

吾妻連邦の主峰、噴煙絶やさぬ一切径と吾妻小富士は、福島市を東に見下ろしてそびえ、磐梯朝日国立公園として岳中延々たるスカイラインは、雄大な眺望で有名です。デザインは、福島市より望んだ吾妻小富士と一切径の噴煙、それに SOUTH を象徴して太陽を添えたものです。

RI 2530 地区 県北第1分区分
2015-2016 年度福島南ロータリークラブ 会報

RI 会長 K.R. ラビンドラン
テーマ「世界へのプレゼントになろう」

RI 2530 地区ガバナー 酒井 善盛
目標「原点回帰」

福島南ロータリー・クラブ会長 菅原 節子

目標「会員と家族の親睦から
奉仕の花を咲かせよう！」



福島南ロータリークラブ
パナーの由来は本誌第4面に掲載。

福島南

題字/書 菅原節子 会長

第7回
例会

平成27年 8月19日 水曜日

本日のプログラム

- 12:29 酒井善盛ガバナー入場
- 12:30 ①開会点鐘
②ロータリーソング「それこそロータリー」
③四つのテスト 唱和
④来訪者紹介と会長挨拶
⑤御食事をどうぞ
⑥スマイルボックスの報告
⑦幹事報告
⑧米山奨学金授与
⑨福島リトルリーグへ激励金の贈呈
⑩酒井善盛ガバナー紹介
⑪ガバナー公式訪問スピーチ
⑫各委員会報告
- 13:30 ⑬閉会点鐘
《ガバナーを囲んで記念撮影》

本日のロータリーソング

「それこそロータリー」

どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それこそ ローローロータリー

役員		理事		クラブ会報委員会	
会長	菅原 節子	副幹事・45周年実行副委員長	廣澤 俊樹	委員長	一條 浩孝
会長エレクト	佐久間 功	会員増強委員会委員長	大野 順重	副委員長	菅野 良二
副会長・45周年実行委員長	野地 利雄	親睦活動委員会委員長	林 克重	委員	吾妻 学
副会長	吉田 和義	クラブ広報・雑誌委員会委員長	佐藤 朋也	委員	丹治 洋子
直前会長	高橋 勇雄	クラブ会報委員会委員長	一條 浩孝	委員	三瓶 弘樹
幹事	松崎 弘昭	職業奉仕委員会委員長	伊藤 弘子	委員	伏見 勝彦
45周年実行副委員長	黒羽 好夫	社会奉仕委員会委員長	横山りつ子	委員	伏見 勝彦
会計	熊田 治	国際奉仕委員会委員長	穴戸 清和	委員	海老根 潤
会場監督	高橋 和之	青少年奉仕委員会委員長	伊藤 紘一		
		ロータリー財団委員会委員長	鈴木 光一		

ロータリーの豆知識

【四大奉仕の制定】

1927年のオステンド大会においてロータリーの組織管理の合理化が行われ実践上または管理上の利便から抜本的に再編成されて、四大奉仕(現在の五大奉仕)に基づいた委員会構成に変更されました。すなわち、目標設定委員会(Aims and Objects Committee)の下にクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に委員会を置き、理事をそれぞれの委員長に充てるというものであって、現在の委員会構成の原形となるものです。この方法はイギリスのロータリー群で早い時期からパイロット・プログラムとして試行されていたものが、1927年にRIによって正式採用されたものです。これによって、ロータリーの奉仕活動実践の実体と、クラブ管理運営の実体とがマッチして、奉仕活動の実践がやりやすいようになりました。

今月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。



平成 27 年 8 月 5 日 水曜日 ●サンパレス福島
●会員 /74 名 ●出席 /47 名 ●出席率 /63.51% ●メークアップ /27 名 ●修正 /74 名 ●修正率 /100.0%

会長挨拶 **青少年の若い力をロータリーの未来へと繋げよう！** 会長 菅原 節子



皆様、猛暑日が続いている中、ご出席有難うございます。今年度は毎月の月間がいろいろ変わりましたが、さらに 8 月の月間が変更になり会員増強及び拡大月間から「会員増強・新クラブ結成推進月間」となりました。先週は、多くの家族の皆様にご参加を頂き「家族納涼パーティー」が賑やかに開催されました。親睦活動委員会の皆様、大変お世話になり有難うござい

ました。一昨日 8 月 3 日東京麹町 RC の夜間例会納涼会に、福島南 RC より 10 名で参加して来ました。東京駅前の丸ビル 36 階にある「ブリーズ・オブ・東京」での開催で、懇親を深めてきました。さて、100 年を迎える全国高等学校野球選手権大会が明日開会式を迎えます。福島県代表の聖光学院は、戦後の大会史上初めて 9 年連続出場 12 回目を達成しました。大会 7 日目、12 日の第一試合で神奈川県代表・東海大相模と対戦します。白河の関を越えて優勝旗を福島に持ってきてほしいと願っております。古関裕而作曲の「栄冠は君に輝く」は、昭和 23 年「夏の甲子園」第 30 回大会に合わせ作られ、若い人にも歌い継がれております。今日は、戦後 70 年にちなみ最年長会員佐藤誠さんにスピーチをして頂きます。どうぞ宜しくお願い致します。

会員スピーチ **戦後 70 年にちなんで**

佐藤 誠

私は昭和 2 年 10 月に、今住んでいる鳥谷野で、中堅農家の 7 人兄妹の 2 番目に生まれました。

昭和の時代は一口にいて、昭和 10 年ごろまでは、たいへん暗い時代でした。それ以降は明るい時代というわけではありませんが…特に昭和 4 年以降は世界的恐慌の一環としての、日本での恐慌で深刻な不景気、生活難でした。昭和 7 年以降は、軽工業の発展と輸出増で、少し回復傾向に向かったようですが、農村の疲弊・恐慌は米の価格の下落等もあって、そのまま続いておりました。

『働けど働けどわが暮らし楽にならざり、じっと手を見る』でした。当時の農村の貧困は、次のように説明され、私たちも教育されたのです。全国的にそうであったと思われます。

日本は島国で国土が狭い上、山が多い。農地面積はわずかで、国土面積の 1 割 5 分位しかない。だから貧困なのだ。農村の貧困の原因は、国土の狭さ、農地の狭さにあると、このように説明されていたのです。

(これはトンデモナイ大嘘で、本当は封建的土地所有制つまり地主制度にあったわけですが、それはさておいて、)

当時の小学校には大抵二宮金次郎(尊徳)さんの銅像があり、勤勉に黙々と働く事が模範とされていました。美徳とされていました。

戦後、それまでの価値観が大きく変わりました。小学校 4 年生の 7 月、中国との戦争が始まり、福商 2 年生の 12 月に太平洋戦争が始まり、多感な少年時代を戦争一色で過ごしてきた、私たちは戦後、殆ど価値観の変わった社会の中で、どう生きてゆくべきか、模索する期間がしばらく続きました。

まわりの急激な変化の中での模索、悩みがしばらく続きましたが、手あたり次第に沢山の本を読んだり、友達と議論もしました。

でも一つ言える事は、『この時代、どう生きるべきか』の問題の取り組みの度合い、取り組みの程度によって、その後の人生、その人の生き方が定まったような気が致します。

あらましまとまった、考え方は、一口にいえば『多数の中の 1 人として生きる。権力には近付かない』『大衆の中の 1 人として生きる。政治権力等には近付かない』そうした生き方を貫きとおしたい。という事でした。

話は変わりますが、福商 5 年生の、1 学期の出来事を、皆さんにお話したいと思います。私たちは 1 年生に入学すると、すぐに剣道か柔道か、どちらかを選び、週 2 時間、その授業を受ける事になっていましたが、私は剣道の方を選びました。その剣道の先生が、(剣道だけでなく、商業科目も受け持っている先生でしたが) 今日の実技でなく、教室で授業するから、全員教室に入れと指示されました。

どんな授業かな、とっていると、先生は黒板に大きく「武」と書いて、この字を分解して、これは“ほこを止める。武器を止める。つまり和の心、和らぎ、peace なのだ。武道の心は和にある。あらそいではない。闘いではない”と熱心に説明されました。

当時は、もちろん戦争の最中であって、教え子達が次々に戦場に動員される中で、先生は“和”の心を熱心に説かれました。感動致しました。その時の先生の教えが、今でもハッキリ覚えております。

今日は随分といろいろなお話を、遠慮なくさせて頂きましたが、平和が何よりも、1 番大事と考える、老一老一ロータリアンの、率直な話とご理解いただければ幸いです。

ご清聴ありがとうございました。



家族納涼パーティー報告

会睦活動委員会副委員長 菊地 和宏

7 月 29 日(水) 午後 6 時半から、ふくしま屋台村において行われたました家族納涼パーティーはお陰様をもちまして、参加総数 140 名という人数で大盛況に終わることができました。

ひとえに、会員の皆様のご理解、ご協力の賜物と、林委員長はじめ親睦委員会一同心より感謝申し上げます。次回の家族クリスマス忘年会もまた、多くのご家族に楽しんで頂けるように親睦委員一丸で取り組みます。宜しく願い申し上げます。

第 2530 地区財団補助金セミナーの報告

ロータリー財団委員会委員長 鈴木 光一

8 月 1 日(土) 午後 1 時より、第 2530 地区 RC 財団補助金セミナーが、南東北総合卸センター共同組合会館にて開催され福島南 RC からは菅原会長・松崎幹事・吉田和義奉仕プロジェクト管理委員長と私の 4 人で出席研修を受けて来ました。

ロータリー財団・グローバル補助金・資金推進・ロータリー奨学生・財団資金管理についてそれぞれ説明がございました。いろいろな活動や補助金を実現して行けるのは、皆様からのロータリー財団へのご寄付から成り立っておりますのでこれからの御協力宜しくお願い致します。